

JIA長野県クラブ 46

社団法人 日本建築家協会

2001. 1. 1



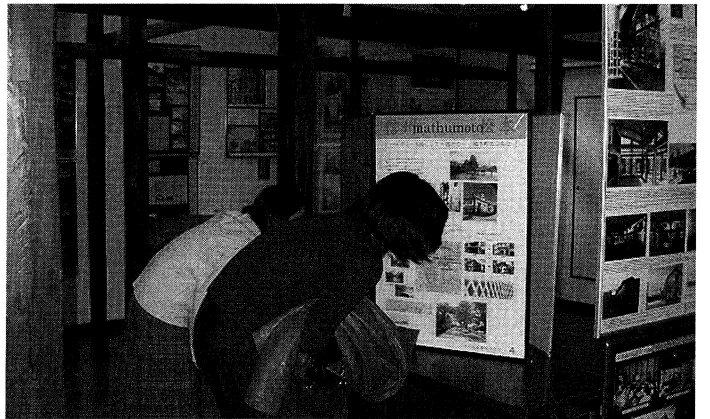
▶ 技術交流会



▼ あすなる建築展



◀ 本音で語ろう会(上諏訪温泉「鷲の湯」)



太い絆

会長 松下重雄

新年明けましておめでとうございます。旧年中は当クラブに対しまして、会員はもとより賛助会の皆様、JIA本・支部の皆様、更には各行政機関ならびに関連団体の皆様には多大なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。本年も倍旧のご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

新年に当たり皆様のご清栄を心よりお慶び申し上げます。あわせて、21世紀の輝かしいスタートを皆様と共に祝い、良い世紀となりますことを祈らずにはられません。

さて、私は昨年10月に四国・愛媛県内子町で行われましたJIA全国大会に参加しましたが、そこで得た感動を皆様にお伝えしたいと思います。大会行事も最終日、エクスカーションコースで愛媛建築巡礼に参加し、日本のモダニズム建築DOCOMOMO(ドコモモ)20選に選ばれた日土(ひづち)小学校(故松村正恒氏設計)等を見学して廻りました。当クラブ会員の赤羽さん(林魏事務所)の松山事務所長青木さんを筆頭に、数人の四国支部若手メンバーがマイカーで案内してくれました。

日土小学校や松村正恒氏についての紹介は今回は省きますが、8年前に亡くなられた建築家・松村正恒は今で

も四国中の後輩建築家達の心に生き続け尊敬されています。そして、訪れた学校の先生達や市民からも残された木造校舎共々愛されている様子がひしひしと伝わってきました。

大会期間中に接した四国の建築家仲間の口からも、松村正恒についての悪口はおろか中傷らしい言葉は一切聞かれませんでした。四国中の建築家仲間が松村正恒を共通の師と仰いでいるようでした。そんな太い絆で結ばれた仲間達だからこそ成し得た感動的な大会であったでしょう(大会の様子やこの建築家の地方での生き様については別の機会に譲ります)。

20世紀は戦争と環境破壊の大罪で、平和と自然の有難さを教訓として残しました。21世紀は全ての意味で「抑制の時代」を意識しなければならないでしょう。

そんな時、いかに自然にダメージを与えないで私達の生活環境を提案できるかが、21世紀の建築家像として求められると思います。愛すべき信州を熱く思い、強い意志を持ち、太い絆で結ばれるような仲間づくりを今後も続けようではありませんか!



あすなる建築展に思う

児野 登

(株)アーキディアック環境計画研究所

今年で第4回目となる『あすなる建築展』は、若里市民文化ホール（長野市）を皮切りに木楽館（上田市）蔵シック館（松本市）りんご並木の三連蔵（飯田市）と県内各地において10月31日から11月27日の約1カ月間で行なわれた。展示内容はJIA長野県クラブ会員の精魂込めた建築作品及び建築学生の卒業設計コンクールで見事賞に輝いた受賞作品で構成されている。

大学の部は金賞：信州大学南謙君[MATSUSHIRO PROJECT]、他2点。高校の部は金賞：飯田長姫高校矢澤真君 [特別養護老人ホームDAYサービス施設“いわずら園”]、他5点。また今回からは専門学校が参加する様になり金賞：国際コンピュータビジネス専門学校奥田貴子・佐藤梨永・清水千春・宮澤友也君 [3M2001(水・緑・桃太郎)]、同じく金賞：長野美術専門学校望月義春君 [信州芸術大学]、他1点となっている。

松本市においては、JIA長野県クラブも加わった三会同まちづくり委員会による [まちづくりウイーク2000] が11月18日から25日まで開催され、まちづくりイベントが市内各所で行なわれた。『あすなる建築展』の会場ではJIA長野県クラブによる「県内のまちづくりパネル展」が同時に行なわれ、建築とまちづくりの接点が見える例年以上の『あすなる建築展』になったと思われる。

会場となった蔵シック館へは、例年よりも多くの市民が訪れ、とくに女性の見学者が増えたように感じられた。中には、観光で松本を訪れた人たちも展覧会に接して行かれた。県内各会場が盛況とはいかなかったようですが、作品パネルの作成や会場設営時の大変さを考えると、今後他のイベントと組み合わせての開催も視野に入れ多くの市民に情報発信できたら良いのではないのでしょうか。



「スワ!集まれ」にはせ参じた強者どもは……

赤羽 吉人

(株)林魏建築設計事務所

12月1日、20世紀を締めくくる行事として、年末恒例の技術交流会、本音で語ろう会、忘年会が開催された。

松本での開催に拘らず県内各地を持ち回りで開催することで、多くの地元会員の参加を期待しようとの意向で今年は諏訪湖畔の老舗旅館「鷲乃湯」での開催となった。諏訪特有の厳しい冷え込みが予想される天気であったが、40人を越える参加者があり盛況であった。

技術交流会は3社に担当していただいた。

- ・リリカラ(株)：健康と環境に配慮した壁紙・床材
- ・(株)山 二：21世紀のエコロジー・ウインドウ「エコフェスター」
- ・坂田工業(株)・田島ルーフィング(株)大宮営業所：環境対策防水工事について

各社とも、今話題となっている環境との調和がメインテーマとなっており、参加者は皆真剣に講師の話に耳を傾けていた。このような有益な技術交流の機会を、会員本人だけでなく、事務所の所員にも与えたいとの意見も出され、今後のより充実した情報提供の機会作りが望まれていると感じられた。

本音で語ろう会では、次の5つのテーマに分かれて、激論(?)が戦わされた。

1. 地域の木 (建築素材としての地域の木材)
2. 20世紀の○と× (新世紀はどこへ向かうのか)
3. これでよいのかバリアフリー
4. IT革命と私たち
5. 新知事に望むこと

こちらもやはりタイムリーなテーマが設定されていて、大幅に時間を超過する熱い論戦となった。日常業務の中にこういった本音の部分をもっと多く反映されないものかともどかしく感じながらも楽しい一時であった。

本音で語ろう会に先だって、CPD (継続職能研修)の説明会が来春の新年会に合わせて実施されることが報告され、松下会長から建築家資格制度の歴史的意味合いや、同制度の実現に向けてのJIA本部支部の動き等が詳細に報告された。ここしばらくは、CPDが中心的話題の一つとなることが予想される。会員の皆さんには是非、今度の研修説明会に参加されて、新制度発足の際に円滑に対応できるよう準備されることをお勧めしたい。

引き続き忘年会。いつまでも先の見えない景気の中で迎える何度目かの忘年会となったが、皆、それらを吹き飛ばす勢いで大いに飲んで語っていただいたものと思う。建築家カタログ第2集の話もちらほらと聞こえ始めており、私たちの21世紀であれ!と願わずにはおれない。

会員の皆様へお知らせ

会員研修会

講師 河野 進氏 (本部 副会長)

◇ JIAの課題とこれから

大字根 弘 司氏 (CPD評議員・CPD運営委員会委員長)

◇ CPD (継続職能研修) について

日時：2001年1月25日(木) 14:30~17:30

会場：「メルパルクNAGANO」長野市鶴賀高畑752-8



インターネットで家は建つのか？

林 隆

林建築設計室

昨年の夏、JIAに入会させていただきました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

独立して3年目になりますが、事務所のホームページを公開しています。暇にまかせてやっているお遊びのようなレベルのものです。唯一自分の考え・姿勢を発信できる手段として利用しています。実績が少ないため作品集というわけにはいきませんが、計画案や進行中の現場の紹介などをして、一般の人に本来の設計監理の在り方やハウスメーカー以外の家づくりの方法を知っていただくとしています。実質的に初めて自前のメディアを持つことが可能になったわけです。

メールによる相談コーナーには、何件かの問い合わせをいただきました。建物の不具合の解決方法、工事中の疑問について、また漠然とした構想段階で情報が多すぎて整理ができないケースなど様々です。イタリア在住の日本人から、マンションの水漏れ対策について尋ねられたのには驚きました。

一般の人にとっては、些細なことを誰に相談していいのかわからずに困っていることが意外と多いようです。回答をすることは、ほとんどボランティアの世界ですが何かのお役に立てればと思います。

ネット上では、住宅のコンペを行うサイトや施主と建築士の出会いのサイトなど建築設計に関するものも増える一方で、その是非については意見の分かれるところかもしれません。ただそれらへのアクセスが飛躍的に増えているということは事実です。大変な時代になったわけで、この情報化の時代には家づくりという行為の全体像が、非常に見えにくくなっています。発信する情報には責任を持つことと、氾濫する情報の中で何が一番大切であるかを冷静に判断することが、今後の重要な課題ではないかと思っています。

インターネットと建築設計について考えてみますと、設計から工事完了までのコミュニケーションの方法が一変してきています。もちろん重要な決め事や説明は、必ず顔を合わせた打ち合わせが必要ですが、既存の雑誌やメディアが持ち得ない即時性・簡易性・相互通信性など多くの優れた特性を持っています。私にとっては 不可欠なツールになりつつあります。

ネットがきっかけで知り合った方の住宅が、昨年12月蓼科高原に完成しました。

<http://www.mcci.or.jp/www/h-a-o>



個性化時代に対応できるように！

林 孝昭

(株)前田鉄工所長野営業所

3年前にはオリンピックで長野県は全国に注目された。又今は県知事の仕法で注目されている。実は社会全体が「個性化」「専門化」の時代になってきたと思う。個性化対応とは個別化対応が不可欠になる。個別化対応をすると顧客は嬉こぶが一般的に企業はコストアップとなる。そこに矛盾が生ずる。しかし個別対応を欠いたすべての営業主体は衰退せざるを得ない時代を迎えている非常に難しい時代である。

スーパーマーケットが安売りを武器に伸びて来たが最近店は閉めるところも多くなった。やはり専門化、個別化戦略をとっているところがその機能を十分発揮している。個人でいえば接客、苦情処理、渉外、広報、宣伝、専門知識……と多様な能力が要求される。すなわち「究極の総合職」である。その為にはやはり教育なのかなと思う。マニュアルでは教えられないようなものは存在しない。自分の知性と感性で臨機応変に最適な解決策を見出す訓練が必要である。そんな意味で教育・研修はこの時代だからこそ必要だと思う。



福祉関係の施設を訪ねて

坂 田 隆

土工業(株)

日頃暖房設備の仕事に携わらせて頂きまして、その仕事柄から幾多の福祉施設に行く機会が多いので、そんな状況下より少々述べさせて頂けたらと思います。人生誰しも必ず迎えないければならない「老い、(かく言う自分もそう遠くないかも)がそこに現実として、存在しています。しかしご老人の方々はそんな中で老いても本当に多様な生き方をされています。

四六時中奇声を発している人、何時までも涙の止まらない人、訪れる度に「何処から、来たんだい、と聞いて来るお爺さん、そんな中で自分達が使用するナプキンのたたみかたを黙々と教えているお婆さん... 何時も明るく、また汗だくになりながらお世話する介護のお姉さん。みんな一生懸命でした。皆さん頑張ってください。

そんな環境を優しく包む建物、柔らかな日差しが、降り注ぐ明るい窓、みんなで食事をしたり、くつろげる広いスペース。そんな建物に数多く行かせて頂きまして、人の住まう建築物とは、多少なりとも、自分なりに勉強させて頂けたと思います。

私ども、そんな環境に少しお役に立てればと思います。

クラブインサイド

第2・3・4回県内まちづくり視察会

川上 恵一

10月6日松本・30日須坂・11月10日小諸とたて続けにまち並ウォッチングを開催。各地にキーマンの情熱があってまちが動いていると実感。来期も是非大勢の会員の皆さんが参加し、まち歩きを楽しませて欲しい。

第3回事業・会員委員会合同打合せ会

片倉 隆幸

10月19日、ホテル国際21において「あすなろ建築展」の準備会を開催。学生卒業設計コンクール2000入賞作品のパネルづくりの後、各会場の責任者の決定と役割について検討。大勢の入場者を期待し準備を整えた。

第1回賛助会員との交流ゴルフコンペ

坂田 守夫

10月27日、信濃ゴルフ倶楽部で開催。天候に恵まれ、14名が出席。優勝は齊藤和雄氏。尚、(株)本久赤塩氏に段取りを、又田島ルーフィング(株)様には商品のご協力をいただき。正会員の出席が少なく残念であった。

第2回情報特別委員会 関 邦 則

11月1日、松本市のルートイン松本インターにて開催。クラブの試作ホームページについて意見交換。近日中にオープンすることとした。また「愛と情熱の家づくり」vol.2の企画についても意見交換。

第1回会員委員会 久 保 隆 夫

11月14日、ルートイン松本インターで開催。「本音で語ろう会」の企画について協議。今年は五分科会にてワークショップ方式により多勢参加し易い計画とした。また、CPD（継続職能研修）についてクラブ会員への説明会を企画することなど協議。

第5回正副会長・委員長会 松 下 重 雄

11月14日、ルートイン松本インターで開催。クラブ報告、本部・支部報告に続き「技術交流会・本音で語ろう会・忘年会及び幹事会」の運営について話合う。文化講演会の2月開催と新年会に併催でCPD学習会をを決めた。学生卒業設計コンクール2001の新参加校1校を承認。

第6回幹事会 関 邦 則

12月1日。上諏訪温泉の「鷲の湯」にて開催。昼から幹事会、技術交流会、本音で語ろう会、忘年会と続く。幹事会ではクラブ・本部・支部報告に続けて議事に入り、これから計画される文化講演会・新年会について協議。今後のJIAの動向の中で重要になるCPDについて前向きに吸収することとし、1月25日に新年会と合わせてCPDに関する研修会を開催することとした。技術交流会や本音で語ろう会なども大盛況。寒い季節のホットな1日となった。

クラブアウトサイド

第2・3回地域サミット 松 下 重 雄

第2回は10月3日、アーキテツガーデン銀座建築祭に合わせ開催。第3回は11月9日、茨城県に於て開催。アーキテツガーデン及びJIA内子大会の報告に続き、CPD（継続職能研修）について熱心に討議。

第5・6回支部業務委員会 関 邦 則

11月8日及び12月6日開催。地域会とのパイプづくりの具体化について検討を行った。橋本喬行参与から顧客満足度調査に関するお話もお聞きした。

全国地域会合同会議 松 下 重 雄

10月19日、JIA内子大会の開催前日に開催。地域会の意義と地域合同会議並びに地域委員会の位置づけを中心に各地域会長の活発な議論がされた。後半は本部理事会との懇談となり、企画運営会議設置等が報告された。

JIA大会内子2000 松 下 重 雄

10月20日～22日四国愛媛県内子町で開催。長野地域会からは倉橋、松下のみの参加で残念であったが、伝統的なまち並みを持つ小さな支部が、町を挙げての様々な心温まる歓迎に感銘を受けた。折りにふれ報告したい。

第7回支部会員委員会 久 保 田 三 代

10月31日開催。入会申込書の簡略、合理化、退会申し出者の慰留の方法について討議。11月28日開催の会員集会、新会員の集いの役割分担確認。通例の入退会審査。

第6回支部総務委員会 久 保 隆 夫

11月8日開催。議題は本部役員会、委員会の報告に続き財務問題について協議。特に財務問題についてはかなりの減収が見込まれ増収案と共に活動費節約案検討が必要。各地域会への活動費見直し、準会員制度の提案など懸案される。

第5回支部役員会 関 邦 則

12月5日開催。報告事項として、銀座建築祭入場者は昨年より低調・CPDテストランについての結果検討・会費納入中間状況は振るわず。協議事項として、公益法人化停滞打開へ基本政策会議を推進。



JIA長野県クラブ

編集人 依田政司
発行人 松下重雄
発行所 JIA長野県クラブ
長野市南長野妻科
426-1
長野県建築士会館内
TEL 026(232)3897
FAX 026(232)5303
作成 新建新聞社